

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成26年10月9日(2014.10.9)

【公開番号】特開2014-155436(P2014-155436A)

【公開日】平成26年8月28日(2014.8.28)

【年通号数】公開・登録公報2014-046

【出願番号】特願2013-17627(P2013-17627)

【国際特許分類】

A 0 1 G 7/00 (2006.01)

A 0 1 G 9/20 (2006.01)

H 0 1 L 33/00 (2010.01)

【F I】

A 0 1 G 7/00 6 0 1 Z

A 0 1 G 9/20 B

H 0 1 L 33/00 L

【手続補正書】

【提出日】平成26年8月26日(2014.8.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発芽した果菜類に赤色光を照射する手順と、発芽した果菜類に青色光を照射する手順を、各手順を 3 ～ 4 8 時間の範囲内で交互に連続して、別個独立に行うことにより花芽を分化させる工程と、

該花芽が分化した果菜類に、蛍光灯を用いて光を照射する工程を有することを特徴とする果菜類の栽培方法。

【請求項 2】

発芽した果菜類に赤色光を照射する手順と、発芽した果菜類に青色光を照射する手順を、各手順を 3 ～ 4 8 時間の範囲内で交互に連続して、別個独立に行うことにより花芽を分化させる工程と、

該花芽が分化した果菜類に、赤色光と青色光を同時に照射する工程を有することを特徴とする果菜類の栽培方法。

【請求項 3】

発芽した果菜類に赤色光を照射する手順と、発芽した果菜類に青色光を照射する手順を、各手順を 3 ～ 4 8 時間の範囲内で交互に連続して、別個独立に行うことにより花芽を分化させる工程と、

該花芽が分化した果菜類に、太陽光を照射する工程を有することを特徴とする果菜類の栽培方法。

【請求項 4】

ビニールハウス内で、前記花芽が分化した果菜類に、太陽光を照射することを特徴とする請求項 3 に記載の果菜類の栽培方法。

【請求項 5】

前記花芽が分化した果菜類に、蛍光灯を用いて光を照射する工程をさらに有することを特徴とする請求項 3 又は 4 に記載の果菜類の栽培方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(1) 発芽した果菜類に赤色光を照射する手順と、発芽した果菜類に青色光を照射する手順を、各手順を3～48時間の範囲内で交互に連続して、別個独立に行うことにより花芽を分化させる工程と、該花芽が分化した果菜類に、蛍光灯を用いて光を照射する工程を有することを特徴とする果菜類の栽培方法。

(2) 発芽した果菜類に赤色光を照射する手順と、発芽した果菜類に青色光を照射する手順を、各手順を3～48時間の範囲内で交互に連続して、別個独立に行うことにより花芽を分化させる工程と、該花芽が分化した果菜類に、赤色光と青色光を同時に照射する工程を有することを特徴とする果菜類の栽培方法。

(3) 発芽した果菜類に赤色光を照射する手順と、発芽した果菜類に青色光を照射する手順を、各手順を3～48時間の範囲内で交互に連続して、別個独立に行うことにより花芽を分化させる工程と、該花芽が分化した果菜類に、太陽光を照射する工程を有することを特徴とする果菜類の栽培方法。

(4) ビニールハウス内で、前記花芽が分化した果菜類に、太陽光を照射することを特徴とする(3)に記載の果菜類の栽培方法。

(5) 前記花芽が分化した果菜類に、蛍光灯を用いて光を照射する工程をさらに有することを特徴とする(3)又は(4)に記載の果菜類の栽培方法。